

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : SUMMIT

COLOR : BLUE/GOLD/SILVER

COVER STOCK : TX-23™ HYBRID REACTIVE

RG : 2.46(MED/15P) ΔRG : 0.056 (MID/15P)

FACTORYFINISH : 3000GritABRALON

TRACKFLAREPOTENTIAL : 6 -61/2(HIGH)

BACK END : 18 LENGTH : 15 (1-20)

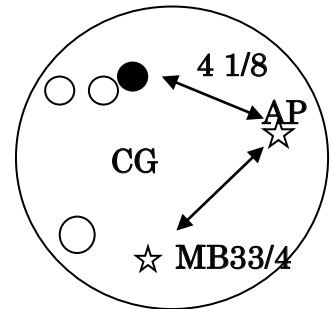
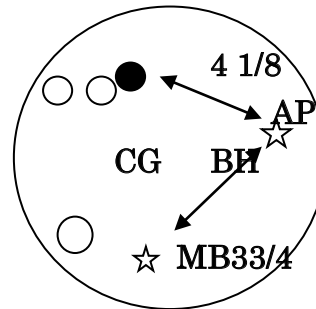


2023 年 4 月

レイアウト例

MARVEL MAXX PURPLE

SUMMIT



適正レーンコンディショニンググラフ

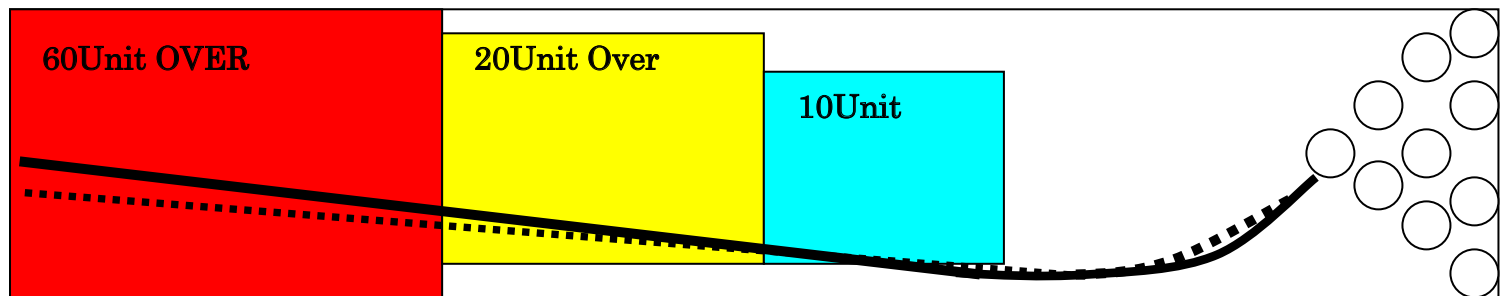
【MEDIUM OIL 編】

CA55 度/PSA2

フラー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

CA55 度/PSA2

最大 6 7/8 ・ 間隔 1/4



0F

15F

35F

40F

比較品ライン

SUMMIT

MARVEL MAXX PURPLE

【レーン状況】 アンボイでのドレッシングに手前スプレーにてオイル増量をしています、バックエンドは手拭きのクリーニングを行っています。

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5
スキッド	1	2	3	4	5
ピンアクション	1	2	3	4	5

曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
オイルの強さ		1	2	3	4	5	
テスト品	○						比較品

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

今までマーベルに使用していたセントリピタルコアの比重を変える事で重量コアになりレーン手前から中盤をより一層安定させる事で曲がり出しの早さと安定感を増して発表されます。

【ここがポイント】



現在のレーン事情がレーン手前のオイルが薄くなる事で走りが悪く余分な摩擦係数やインサイド側に寄らされる傾向が多く見られます。ボールに内蔵されているコアを重くする事で表面素材より直進性が増しますがスベル事で不安定要素がデメリットとしてあります。そこで転がりながらも適度な摩擦係数が生まれる様に幾度となくテストして現在事情に合うようにセッティングしました。当然従来の MARVEL が持つ良い所は継承しながらも対称コアの代表作とも言える MARVEL に磨きを掛けました。TX 素材は丁度中間的な摩擦係数で強くも弱くもなく幅広い使用頻度があるようにした素材で、全体的に適度な摩擦が生まれます。最近ではピンアクションというのが当然の様に向上していますが、今回もあたりが強くピン負けしないのでとても満足度の高い物です

発売予定 : 2023 年 7 月中旬

石原 章夫プロ【(株)ハイ・スポーツ専属プロモーター】 テスト協力センター : アイビーボウル向島

